

『おおおいしだめとんとむがすあつたけど』(44)

《創作むがす》

カッパのいたずら

織江 祐智作

《後編》

「おお、いるぞ。だれだか知らないが、まあ入れ。」

という、戸をカラカラと開けて入って来たのは人間のいいこつだけだ。

「ノコノバーメとはほねからの化物か。まあここさ座れ。お茶でも飲め。」

とすすめると、

「ゴメン。」
 といってカサツとすわつた。すると今度は、お御堂の入口の半鐘のところで、カタンと音がしてドンドンドンと歩いて来たものがあるんだと。そしておじいさんの所まで来ると、

「お住持いるか。サエツツ坊だ。」

といって、入れともいわないのにガラリと戸を開けて入って来たのは、半鐘の化物だけだ。

「まあ、こつちゃ来てあたれ。お茶でも飲め。」

といって、またお茶を飲ませだ。しばらく三人はお茶を飲んでいて、外の鐘つき堂の所で、ガランガランという大きな音がした。そしてドシンドシンと響きを立てながら家の中まで入ってくると、

「お住持いるか、おれはガンガラ坊だ。」

といってあららしく戸を開けて、ドシンといろりのそばに腰かけた。見ると、大きな符鐘(お寺のつりがね)の化物だけだ。

「おうおう、これで三匹そろったか。ごくろうだったな。」

おじいさんがお茶を入れようとすると、ガンガラ坊は茶がまのお湯をそのまま両手で持つて飲んでみせだ。そして、

「お住持、なして驚かないのだ。」

と聞いた。

「お前らは夕方のカッパの兄弟だべ。またいたずらしに来たのだべ。わかってるから驚かないのだ。それにしてもサエツツ坊もガンガラ坊も坊とつくからは、お寺に来てわしの仲間になりたいのだべな。ノコノバーメはまだ小さくてそこまではれないのだべ。」

すっかり見抜かれたカッパの兄弟は神妙になって仏様の話を聞いて、それからはおじいさんの弟子になり、いたずらはしなくなつたんだと。

どんびん

○出典『大石田のとんとむがす』

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

◇編集・発行 大石田町総務課

〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町1番地

0237-35-2111

FAX 0237-35-2118

◇印刷／大場印刷(株)

『おおおいしだめ』の文字書体は誰にでも読めやすいユニバーサル書体を使用しています。

大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

友だち登録をお願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

総務課総務グループ TEL35-2111 (内線218)

町の人口 令和8年2月1日現在

世帯数	2,185戸	(-2)
総人口	5,736人	(-18)
男	2,869人	(-6)
女	2,867人	(-12)
(1月中の異動)		
出生	3人	転入 10人
死亡	15人	転出 16人

※この人数は外国人も含めたものです。